

平成 27 年度 地域づくり活動支援事業・文化振興事業を紹介します

町では、平成 27 年度に地域づくり活動支援事業・文化振興事業を行う団体や個人に対し、活動を支援するための補助金を交付しましたので、その事業内容を紹介します。

なお、平成 28 年度の募集につきましては次ページをご覧ください。

地域づくり活動支援事業

■問い合わせ 政策企画課 ☎0820(74)1007

団体名・事業名	事業内容
周防大島を有機の島にする会 ▶有機農業の普及・新規就農者支援・有機野菜等のマーケットづくり	有機農業普及のための PR イベントの開催、耕作放棄地の草刈り、アンケート調査を実施した。
青空保育 のらっ子 ▶周防大島の自然と環境を生かしたみんなの遊び場づくり	子どもの遊び場づくりを整備するとともに、情報の整理発信を行った。
エジソククラブ ▶周防大島名水ベストテンを探す	町内のそのまま飲むことのできる川の源流、湧水、井戸水を探すとともに、非常用水源として災害時に活用できるよう調査を行った。
特定非営利活動法人 自然と釣りのネットワーク ▶ニホンアワサングの生息する地域の自然、歴史、文化を活かしたまちづくり	ニホンアワサング観察を中心にして、エコツアーを通じ地域の自然や歴史、文化を見直しそれらを守っていく活動を行った。
NPO法人 島スクエアプラス ▶小規模菜園農産物流通のしくみづくり	高齢者の生産する小規模農産物を集荷し、地域住民に供給する仕組みをつくるとともに、高齢者と子どもたちの交流の場を設けた。
大島竹トンボクラブ ▶大島竹トンボクラブの継続と発展	竹とんぼ作りを通じて子供たちの物づくり、物の成り立ちに対する関心、考える力、工夫する力の育成また、シニアの力を発揮する場の提供を行った。
「花の咲く夕日の里づくり」の会 ▶外入地域の耕作放棄地を整備し花木を植え、旧跡と景観を生かして地域の活性化を図る	耕作放棄した畑などを整備を行い花木を植え花の咲く里にし、ハイキング大会を通じ多くの人に外入を知ってもらった。
スマイルエンジョイ ▶障がい者居場所地域づくり	障がいを持つ人・その家族・地域社会で生きにくさを感じている人たちに安心ができる居場所を開設し、地域の人とともに活動した。
安下庄海の駅を目指す会 ▶世界へ発信する海の駅-その拠点づくり-	海の駅の開設に向けた先進地視察や手作り係留施設の整備、漁業者と高校生との連携による商品開発を行った。

文化振興事業

■問い合わせ 教育委員会社会教育課 ☎0820(78)2205

団体名・事業名	事業内容
周防大島観光ボランティアガイドの会 ▶ふるさと紙芝居	道の駅サザンセトとうわで、本町に伝わる昔話や伝説を手作りの紙芝居で上演し、多くの観客とふれあい、本町へ愛着を持っていただき、交流を深めた。
周防大島ミュージックファミリー BONDZ ▶文化振興コンサート	音楽を通じて地域文化の振興・創造を目指すため、プロによる美しい演出照明が行われる中で、県内外のミュージシャンと地元の子供たちが出演するコンサートを開催した。
NPO法人 周防大島郷土大学 ▶郷土の学習事業	真の郷土人としての自覚を持つことを目的に、郷土の歴史、産業、政治、社会、文化等にわたる講義を行い、地域の振興・活性化の役割を担った。
NPO法人 周防大島ふるさとづくりのん太の会 ▶科学するココロ講演会	中学生及び小学校高学年児童を対象に日本最先端の技術開発者の講演会を開催し、科学への関心を引き出す契機をつくることができた。
周防読書塾 ▶郷土関係冊子「屋代島随想」の発行(第四集)	郷土関係冊子を発行し、忘れられかけている郷土の貴重な歴史的事象を掘り起こし、町民の郷土再認識のきっかけづくりや、郷土愛の向上に資することができた。
ふるさと学習会 ▶ふるさとの文化探究	宮本常一の本を読む会をすすめていく中でふるさとを見直す大切さを知り、現地学習や見学会、島外からの来訪者へガイドを行い、周防大島のよさをPRした。